

石井筆子 いしゐ 女子教育家。慶應元年四月十六日肥前國生れ、昭和十
九年一月二十四日歿（一八六一—一九四一）。大村藩士渡邊清の長女、また坂
本龍馬と共に薩長同盟の盡力した渡邊昇と叔父の有り。東京女學校を
卒業後、皇后の命により歐洲留學。歸國後華族女學校のフランス語教
師となり、更に靜修女學校校長に就任。結婚した同郷の官吏小鹿島果
と明治二十年の死別後、精神薄弱の遺兒一人がその教育施設龍乃川學
園に入園してゐた關係から經營者の石井亮一を知り再婚。爾後夫と共に
精神薄弱教育の専念、夫歿後一代の學園長となる。

著書『小説界と政治小説』(才藏)『小説界と政治小説』(大正十二
年十一月十五日波多野把滿子刊、東京堂書店)がある。